

つつじヶ丘アトリエより展覧会のお知らせ



《view#1~#81》 水彩紙にアクリル絵具 148x210mm 2019

内田 涼 個展『或る接触』

2019年12月21日(土) - 12月29日(日) [24(火)と25日(水)は休廊]

13:00 - 19:30

オープニング | 12月21日(土)18:00 -

※『村上慧による喫煙所』と同時開催

つつじヶ丘アトリエ
東京都三鷹市中原1-11-17
[京王線つつじヶ丘駅より徒歩5分]

お問い合わせ先: tsutsu.zi.info@gmail.com



《喫煙所(高松)》 2019(参考作品)

村上慧による喫煙所

2019年12月21日(土)－12月29日(日) [24(火)と25日(水)は休廊]

13:00－19:30

オープニング | 12月21日(土)18:00－

※内田涼個展『或る接触』と同時開催

つつじヶ丘アトリエ
東京都三鷹市中原1-11-17
[京王線つつじヶ丘駅より徒歩5分]

お問い合わせ先:tsutsu.zi.info@gmail.com

この度「つつじヶ丘アトリエ」にて二つの展覧会を同時開催いたします。庭付きの民家を改装した開放的なオルタナティブスペースです。この機会にぜひお越しください。

①内田涼 個展『或る接触』について

内田は「触れることによって生まれてしまう事柄のそれぞれを、いかにして受け入れていくか」ということに興味を持ち、制作を続けてきたと言います。

「絵を描く自分」という主体の自明性を揺るがすために、いくつかの手法を使って出現させた形態を起点にして、そこからまだ見ぬ景色へ辿り着こうと筆を動かす姿勢は、「描くこと」を解体し、さらには「見ること」とは何かを考えさせます。

作家という主体と、呼び込まれた偶然が相互に浸透する抽象的な画面は、鑑賞者という第三者のからだを通りぬけるのを待ち望んでいるかのようです。

今回の個展では、今年の夏にジョグジャカルタで制作した平面作品と、アトリエで描きためた新作合わせて100点にも及ぶ作品群を公開致します。

<作家プロフィール>

内田涼(うちだ・りょう)

1989年 静岡県生まれ

2015年 武蔵野美術大学油絵学科卒業

2019年 Artist Support Project(ジョグジャカルタ)にてレジデンス

<主な個展>

2018年 「とおりぬけて併走」(野方の空白/東京都)

2019年 「Ryo Uchida - Open Studio- 」(Artist Support Project/ジョグジャカルタ)

<主なグループ展>

2015年 「Digital Humanize」(東京芸術大学陳列館/東京都)

<受賞歴>

2019年 NONIO ART WAVE AWARD 2019 準グランプリ

2019年 14th TAGBOAT AWARD 入選



つつじヶ丘アトリエ

東京都三鷹市中原1-11-17

[京王線つつじヶ丘駅より徒歩5分]

お問い合わせ先:tsutsu.zi.info@gmail.com

<参考作品>



《廻りもどる#1》キャンバスにアクリル絵具 610×610mm 2019



《いそしむ》水彩紙にアクリル絵具 250×350mm 2019

つつじヶ丘アトリエ
東京都三鷹市中原1-11-17
[京王線つつじヶ丘駅より徒歩5分]

お問い合わせ先: tsutsu.zi.info@gmail.com

②村上慧による喫煙所について

作家ステートメント

夜行バスに乗る前に寄ったバスタ新宿の下の喫煙所や、能を見たときに行った靖国神社の境内にある喫煙所などで、咳こみそうな空気の中すし詰めになりながらたばこを吸った経験が何度もある。最近हतばこを吸える場所が減っているので、喫煙所があると嬉しくなってしまう、多少居心地が悪そうでも入ってしまう。そもそもなぜたばこを吸う場所を人に指定されなくてはいけないのか考えて、煙さえどうにかすれば「喫煙所」を名乗ることができると思い、煙突を作ってその中に入ってたばこを吸えばいいと思って何度か試してきた。今までは持ち運ぶタイプのものを作ってきたけど、今回はつつじヶ丘アトリエでの『或る接触』展のための、しっかりした、すこし離れた所からも喫煙所であることがわかるような喫煙所を作りたい。湯のマークが描かれた煙突が銭湯の目印になるようなことが気になっている。

<作家プロフィール>

村上慧(むらかみ・さとし)

1988年 東京都出身

2011年 武蔵野美術大学建築学科卒業

2017年 文化庁新進芸術家海外派遣制度によりオレブロに滞在



<主な個展>

2019年 「歩く時間と描く時間」(nowaki/京都)

2017年 「労働をつかむ」(馬喰町ART + EAT/東京)

「家をせおって歩いています-『家をせおって歩いた』刊行記念展」 (誠光社/京都)

2016年 「A fragmentary document/Submission of advertisements」 (Konstfrämjandet/オレブロ)

2016年 「家の提出」 (awai art center/長野)

2015年 「移住を生活する1-182」 (Gallery Barco/東京)

<主なグループ展など>

2019年 「高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.08」 (高松市美術館/香川)

「3331アートフェア」 (3331 Arts Chiyoda/東京)

2018年 「Action for Education」 (ワークショップ/台湾/City Yeast)

「東アジア文化都市金沢2018「変容する家」」 (金沢市内/金沢21世紀美術館)

「집의 동사형(家の動詞形)」 (釜山市内/釜山現代美術館)

「ARTISTS' FAIR KYOTO」 (京都府京都文化博物館 別館/京都)

2017年 「冬のあわい」 (awai art center/長野県)

「TERATOTERA祭り2017」 (三鷹市内/東京)

「風を待たずに-村上慧、牛嶋均、坂口恭平の実践」 (熊本市現代美術館/熊本)

「OpenArt Biennale 2017」 (Örebro市内/Sweden)

「500m美術館vol.22「北の脈々 -North Line2-」」 (札幌大通地下ギャラリー500m美術館/北海道)

2016年 「瀬戸内国際芸術祭」 (小豆島/香川)

「家をせおって歩く原画展」 (たつこの書店/長野)

「岡本太郎現代芸術賞展」 (川崎市岡本太郎美術館/神奈川)

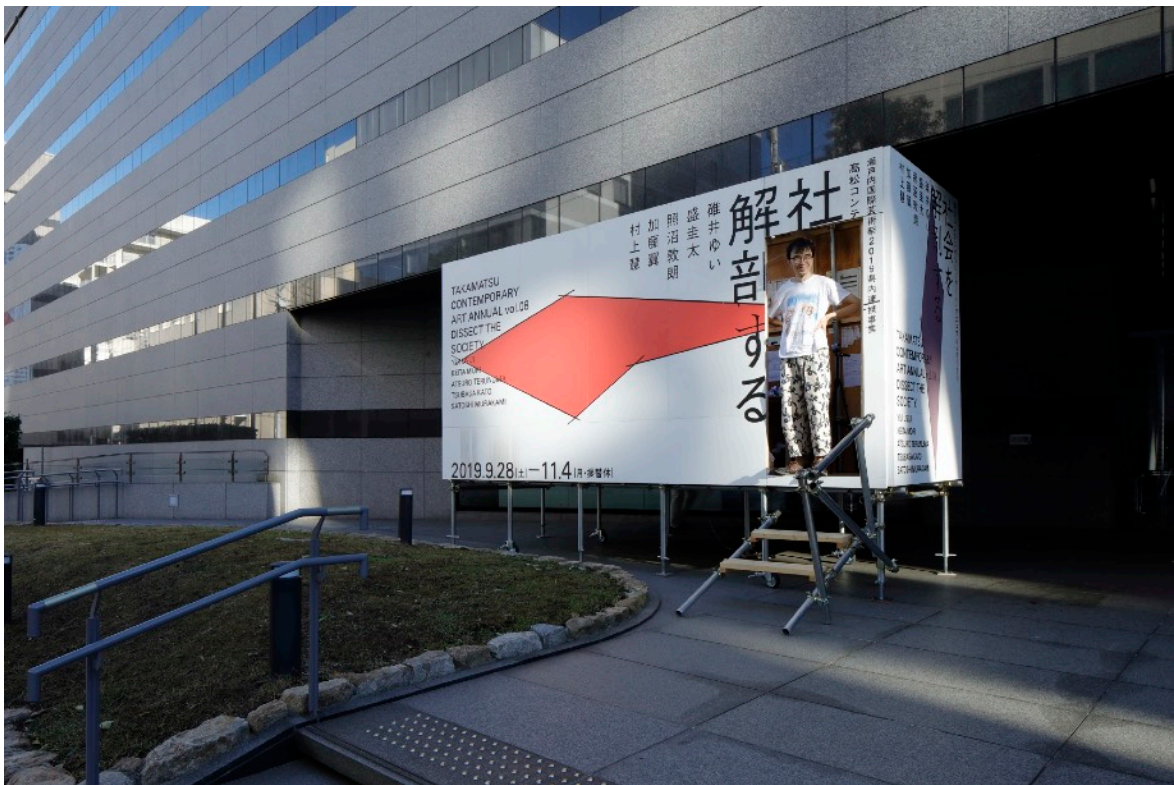
つつじヶ丘アトリエ

東京都三鷹市中原1-11-17

[京王線つつじヶ丘駅より徒歩5分]

お問い合わせ先:tsutsu.zi.info@gmail.com

<参考作品>



《広告看板の家（高松）》 単管パイプ、木材、家具、レシート、ドローイングなど 5000×1500×3150mm 2019（撮影：木奥恵三）



《広告看板の家（高松）》 単管パイプ、木材、家具、レシート、ドローイングなど 5000×1500×3150mm 2019（撮影：木奥恵三）

つつじヶ丘アトリエ
東京都三鷹市中原1-11-17
[京王線つつじヶ丘駅より徒歩5分]

お問い合わせ先:tsutsu.zi.info@gmail.com